

各市町の研究活動状況等調査票

I 市町の研究活動状況 【 高浜市 】

1 活動の概要について

研究組織の名称	高浜市教育研究会 教育事務部会
組織の構成員	市内学校事務職員
開催回数	年間 3 回程度
活動方法（ここ数年の）	テーマに沿って全員で研究を行っている。 テーマとは別に、次年度の文書管理「学校ファイル基準表」の修正及び「備品分類表」の追加等見直し作業を毎年度末に行っている。また、隔年で講師を招いての研修会を実施している。 「市教研活動集録」に部会活動のまとめを掲載している。

2 昨年度の活動について

（１） 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

（２） 活動内容

研究グループのテーマ①	学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由	高浜市就学援助事務取扱要綱を改正し、様式の変更等就学援助事務の簡素化を行う。
方 法	市教委担当者と連携し、実体に合っていない「就学援助費受給申請書」の改正や「世帯票」の廃止等の検討を行う。 また、申請や支給の時期等の流れについても検討し、保護者・学校事務職員・市教委担当者の三者がともにベストとなるような改正を目指す。
年間の成果	懸案だった「就学援助費受給申請書」の様式を改正することができた。具体的には、添付書類の見直し（縮小）や不要な項目の削除、集金未納の場合に学校長へ委任することへの同意書欄や振込口座記入欄を新設するなどです。 また、「世帯票」も廃止に向けた試行として今後の作成を不要とすることができた。
今後の課題	改正後の就学援助事務で新たに発生した問題点の洗い出しを行う。

3 今年度の活動について

(1) 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①		学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由		事例研究による事務処理レベルの向上等
構想図の課題	今日的課題	1 財務運営 ② 情報管理 3 組織運営 4 地域連携 ⑤ 教育活動支援
	経常的課題	㉠ 正確な事務処理 b 事務改善 c 能力開発 ㉡ 職場研修の充実
方 法		各自が経験した事例をもとにした事例研究を行い、事務処理レベルの向上を図る。事例のまとめ方を検討し、手引きとして活用できるものを目指す。 また、教職員への依頼文書や各種記載例のデータ更新等事務処理方法の市内統一、事務の効率化・平準化を引き続き進める。

4 研究組織と市町教育委員会との連携

研究テーマによって市教委と連携を図っている。
 就学援助事務処理の簡素化、手引き作成等、その都度連携を密に取りながら進めてきた。
 今後も同様のスタンスで研究を進めていく。

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

特になし

6 各市町において、事務職員（全員または一部）が参加した会議及び研修会について

平成30年度		平成31年度	
名 称	学校事務連携会議	実施の有無	㊦ 無
主 催	高浜市教育委員会		

参加者(対象者)	市内事務職員 8名	実施内容	(予定) 諸手当認定 諸帳簿点検
実施回数	毎月2回 (第2金曜日及び第4金曜日)		
実施内容	諸手当認定、諸帳簿点検		

平成31年度 新規に実施予定	
名 称	高浜市教育研究会教育事務部会夏季研修会
主 催	高浜市教育研究会
参加者(対象者)	市内全事務職員
実施回数	1回限り(隔年)
実施内容	諸問題に係る事務処理について ・市教委庶務担当者との意見交換